



鉄地黒漆塗縦刳二枚胴具足
(てつづくろうるしぬりたてはぎにまいどうぐそく)
伝上杉景勝所用

令和2年秋季企画展

戦国を彩る武具



日の丸威胴丸日の丸威袖付
(ひのまるおどしどうまるひのまるおどしそでつき)
伝結城秀康所用

鉢形 鉢形城歴史館の令和2年秋季企画展は「戦国を彩る武具」と題し、県内在住の甲冑歴史研究家である伊澤昭二氏のコレクションを中心に展示します。

豊臣秀吉の小田原合戦時、上杉景勝は北国軍の大将として、北条氏邦の拠点であった鉢形城を包囲しました。開城後、氏邦の家臣らの一部は、景勝の配下になっていることが知られています。また、景勝は関ヶ原の合戦では西軍に組したため、所領を大幅に削減され、旧鉢形家臣たちはリストラされたようです。その一部は結城秀康の家臣となり、遠く越前まで赴任しています。このような大きな時代の流れの中で、旧鉢形家臣たちは故郷を後にして、新天地でそれぞれの役割を果たしていきました。

関東にゆかりのある武将たちが所有していたと伝わる甲冑や軍配、刀、槍などを展示しますので、ぜひご来館ください。

- ▶ 期間／10月10日(土)～11月29日(日)
※10月12日、19日、26日、11月2日、4日、9日、16日、24日は休館日
- ▶ 開館時間／午前9時30分～午後4時30分(入館4時まで)
- ▶ 場所／鉢形城歴史館・企画展示室
- ▶ 入館料／一般200円、高校生・大学生100円
(20人以上半額)
※70歳以上、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方は無料



来館に当たってのお願い

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご自宅等で検温し、マスクを着用のうえ、ご来館ください。また、展示室内の混雑緩和のため、入場制限を行う場合があります。

固 鉢形城歴史館 ☎ 586・0315